

ふるさと再発見

合唱組曲「ウミホタル～コスモブルーは平和の色」について

数億年の昔から
日本の海に棲んでいる
光る小さなウミホタル
自然豊かな 里の海に
ひそかに たくましく生きてきた

星は砂地に潜んでる
夜は星の雲のようにたなびく
青い光でゆらめいて
海を色鮮やかな光に染める
宇宙の色のコスモブルー

光る海の星よ ウミホタル
光るコスモブルーの ウミホタル
光る海の星よ ウミホタル
もっともっと光れ ウミホタル

東京湾横断道路(アクアライン)のパーキングエリアで有名になったウミホタル。幻想的なその輝きは、一度見たら忘れられない。館山は世界でも有数のウミホタル生息地である。このウミホタルが主役の合唱組曲が完成した。タイトルは「ウミホタル～コスモブルーは平和の色」。作詞は『紫金草物語』の大門高子さん、作曲は「ぞうれっしゃがやってきた」の藤村記一郎さん。ともに戦争の悲しみをうたった、有名な曲の作者である。

縁あって館山でウミホタルの輝きに出会い、戦時中軍事利用のために館山の子ども達がウミホタル採集を命じられていたというエピソードを聞いた大門さんと、千葉から愛と平和を!合唱団、の境治子さんは、俄然創作意欲をかきたてられた。大門さんの詩を託された藤村さんも、「ウミホタルの美しさとウミホタルにまつわる戦争中の歴史、そして館山という地に惹かれて作り出した」と言う。

そして2004年5月、館山で開かれた「関東うたごえ交流会」でお披露目となり、関東一円から集まった百名以上の合唱団員と地元メンバーはできたばかりの(手書きの!)譜面を手渡され、初見での合唱練習となった。

序章「夕日の海」に始まり、第一章「ウミホタルの光」、第二章「戦争へのシナリオ」、第三章「子どもたちの小さな戦争」、第四章「戦場のウミホタル」、第五章「宇宙(そら)の子守歌」、第六章「光の海」。番外編の「レッツゴー沖ノ島」も最高。そこに展開するのは、目をつむるとすでにミュージカルの世界。地域の人びとにとっては、嬉しいギフトである。

感動した人びとはさっそく練習にとりかかり、7月の「全国教育うたごえの交流会」と8月の「第8回戦争遺跡保存全国シンポジウム館山大会」で、ウミホタルの輝きに添え、歓迎合唱をご披露した。

南房総では鴨川少年少女合唱団が演じてお馴染みのミュージカル「ぞうれっしゃ」だが、全国では10万人が歌っているという。館山発「ウミホタル」も、きっと各地の歌びとたちに愛されていくにちがいない。もし、第一号ミュージカルが南房総の仲間たちで上演されることになれば、ウミホタルも本望であろう。

(「南総ふるさと発見伝まほろば」から)

合唱組曲「ウミホタル」初演 指揮者：藤村記一郎（作曲者） 2005年9月3日（土）千葉県南総文化ホール・大ホール

○合唱練習日と会場

日 時		ジュニア	混 声	会 場
4月 9日	土	結団式 13:30~16:00		たてやま夕日海岸ホテル(夕日ホール)
4月23日	土	13:00~15:30	15:00~17:00	南総文化ホール(大会議室)
5月11日	水	—	13:30~15:30	たてやま夕日海岸ホテル(会議室)
5月14日	土	13:00~15:30	—	たてやま夕日海岸ホテル(会議室)
5月28日	土	13:00~15:30	15:00~17:00	館山コミュニティセンター(第2学習室)
6月 8日	水	—	13:30~15:30	たてやま夕日海岸ホテル(会議室)
6月11日	土	13:00~15:30	—	南総文化ホール(練習室)
6月25日	土	13:00~15:30	15:00~17:00	南総文化ホール(練習室)
7月 9日	土	全体練習 12:00~16:00		南総文化ホール(練習室)
7月13日	水	—	13:30~15:30	たてやま夕日海岸ホテル(会議室)
7月23日	土	13:00~15:30	15:00~17:00	南総文化ホール(練習室)
8月10日	水	全体練習 13:30~16:00		たてやま夕日海岸ホテル(会議室)
8月20日	土	全体練習 13:30~16:00		南総文化ホール(練習室)
8月28日	日	全体練習 13:00~17:00		南総文化ホール(大ホール)

○ 指導者 ジュニア合唱

伊丹裕子・吉田聡子

○ 混声指導

臼井奈美子・児玉久美子・笹崎 清・半澤美緒子・三平宣子・本橋朋子・山口靖代

主催：NPO法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム／合唱組曲「ウミホタル」初演実行委員会

共催：千葉県文化振興財団

後援：館山市／館山市教育委員会／館山音楽鑑賞協会／館山国際交流協会／館山ユネスコ協会